

平成22年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2009-B-01

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：グローバル地震学
 英文：Global Seismology

4. 研究代表者所属・氏名 京都大学大学院理学研究科・中西一郎

(地震研究所担当教員名) 綿田辰吾

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給
中西 一郎	京都大学・教授	研究統括	1年間	365	無
高波 鐵夫	札幌学院大学・客員教授	京大・上宝観測所 北大・屈斜路湖観測点 および北大・浦河地震 観測所のひずみデータ の連続収録	2010/12/6-8 1年間	3 365	有 無
佐藤 魂夫	弘前大学・教授	研究討論	1年間	365	無
趙 大鵬	東北大学・教授	研究討論	1年間	365	無
グラー ロバ ート	東京大学・教授	研究討論	1年間	365	無
竹内 希	東京大学・助教	研究討論	1年間	365	無
今西 祐一	東京大学・助教	研究討論	1年間	365	無
岡元 太郎	東京工業大学・助教	研究討論	1年間	365	無
金尾 政紀	国立極地研究所・准教授	研究討論	1年間	365	無
大見 士朗	京都大学・准教授	研究討論	1年間	365	無
竹中 博士	九州大学・准教授	研究討論	1年間	365	無
小林 励司 (地震研究所担 当教員)	鹿児島大学・准教授	研究討論	1年間	365	無
綿田 辰吾	東京大学・助教	研究討論	1年間	365	無

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：

歪地震計観測，超広帯域地震計試作機，3次元不均質地球波動伝播

1. 歪地震計観測．北海道大学地震観測網の広帯域地震計（歪計・地震計）のグローバル地震観測用機器のデータをインターネットで収録した．
2. American Geophysical Unionでひずみ記録の解析結果を発表した．
3. European Geosciences Unionでひずみ記録の解析結果を発表した．
4. 京都大学防災研究所上宝観測所に超広帯域強震計を設置した。2011年東北地方太平洋沖地震の前日まで稼働していたが、地震の直前に不具合が発生し本震を観測できなかった。
5. 深部地球構造に関する3編の論文を発表した。一つはニュートリノ素粒子による地球内部トモグラフィの可能性について検討し、日本国内の地震観測網データの解析から、一つはD”層の微細構造を、一つは内核表層の速度構造を刷新した。

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

(*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと)

(学会発表)

Takanami, T., Linde, A.T., Sacks, S.I., Kitagawa, G., and Peng, H., Slow Slip Following the 2003 Tokachi-oki M8 Earthquake off Hokkaido, G43A-0825, 2010 AGU Fall Meeting, 2010. 2ポイント

Takanami, T., Sacks, S.I., Linde, A.T., Peng, H., and Kitagawa, G., Slow Slip Following the 2003 Tokachi-oki M8 Earthquake off Hokkaido, G43A-0825, 2011 EUG General Assembly, Vol. 13, EGU2011-2316, 2011. 2ポイント

Takeuchi, N., Simulation of heterogeneity sections obtained by neutrino radiography, Earth Planets Space, 62, 2, 215-221, 2010. 3ポイント

Takeuchi, N. and Obara, K., Fine-scale topography of the D" discontinuity and its correlation to volumetric velocity fluctuations, Phys. Earth Planet. Inter., 183, 126-135, 2010. 3ポイント

Iritani, R., N. Takeuchi and H. Kawakatsu, Seismic attenuation structure of the top half of the inner core beneath the northeastern Pacific, Geophys. Res. Lett., 37, L19303, doi:10.1029/2010GL044053, 2010. 3ポイント